

第2章 帯広市の農業

清水 淳巨

2.1 農業開拓の歴史

1886（明治 19）年に北海道庁が設置され、1893（明治 26）年から帯広を起点として殖民区画割りが行われ、1896（明治 29）年以降移民に開放されることになった。道外からの移住者により本格的な開墾が開始された。十勝川流域の沖積地から始まった帯広の開拓は、常に冷害凶作や水害による農地の疲弊などに脅かされた。1907（明治 40）年に道央との鉄道が開通して農産物輸送が円滑化され、飛躍的に開拓が進められたが、昭和に入ってから冷害凶作が続き農家経済が悪化した。これに対処するため、従来の豆作偏重を改め、乳牛、馬、小家畜の導入による有畜農業への転換、根菜類の導入、優良品種の普及と適地適作経営への転換、農作物加工の普及など、農業全般に対する改善が打ち出された。瘠薄な土壌の不利な条件ながら、輪作農業の確立や酪農への転換、品種改良、農地改良等によりそれらを克服して、今日の帯広農業の基礎を築いてきた。現在は、広大な耕地と自然環境に恵まれた我が国を代表する畑作・酪農地帯として大きく発展し、食料基地としてその前途は大きく期待されている。

図 1 昭和初期の馬耕風景



出典 JA 帯広かわにし

2.2 帯広市の農業の概要

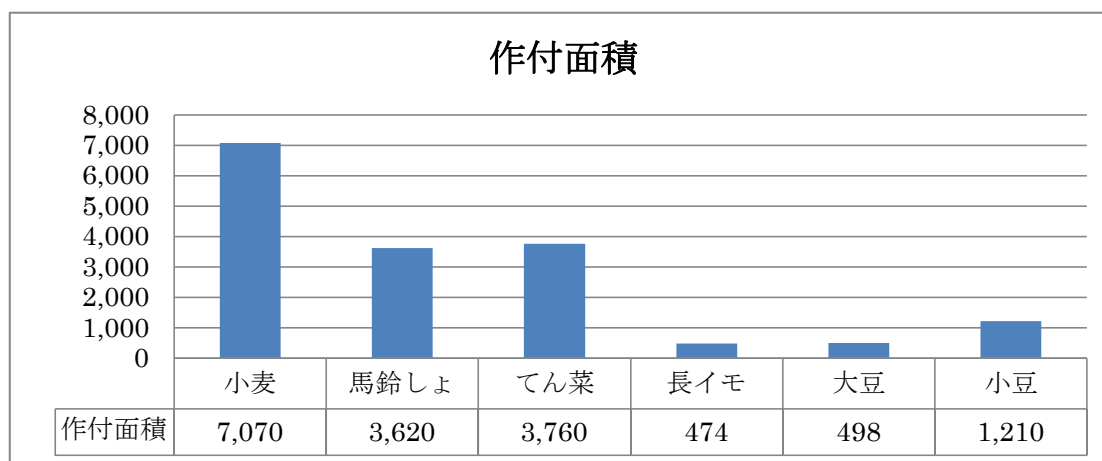
次に現在の帯広市について見ていく。

北海道は日本でも一番の農業大陸であり、その中でも帯広市は豊かな土地を活かした日本一農業が盛んな都市であるといえる。大型機械による大規模畑作経営が中心であり、また、土地利用型農業を展開しており、日本の食料供給基地としての役割を担っている。2006（平成 18）年の帯広市の農業統計によると、カロリーベースの食料自給率は約 280%と人口に対して非常に高い。耕地面積は全体で 20,512.6ha と、市全体の面積のおよそ 3 分の 1 を占め、主な作物は小麦・じゃがいも・ビート・豆類で近年では長イモやごぼうといった地域特産の野菜の生産、輸出も進んでいる。

2.3 帯広市の作付面積と収穫量

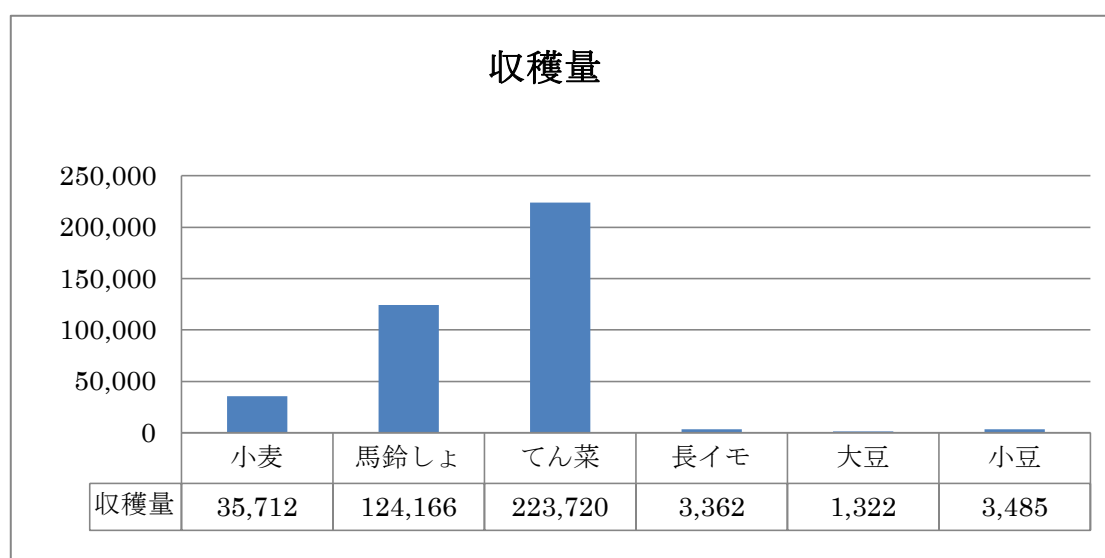
下のグラフから見てわかる通り、帯広市は広大な土地をいかして多くの作物が収穫されている。特にてん菜は収穫量が多く、てん菜から作られる製糖工場が帯広市内にある。

グラフ 1 2006 年度の主要作物の作付面積(ha)



出典：帯広農業技術センター

グラフ 2 2006 年度の主要作物の収穫量(t)



出典：帯広農業技術センター

2.4 帯広市の代表的な農作物

次に、帯広市の代表的な農作物について見ていく。

帯広で有名な農作物といえばてん菜、馬鈴しょなどが考え付くが、ここでは長イモに注目してほしい。

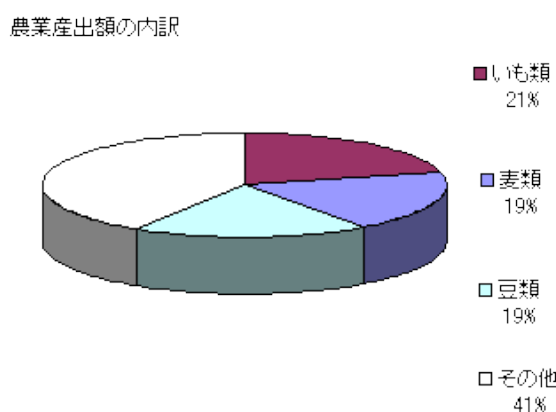
- ① てん菜…サトウキビ同様、てん菜は砂糖のもとになるものであり、国内生産砂糖の 8 割をまかなっている。寒さに強い作物で最適な気温は 25 度、夜の気温も熱帯夜ではダメとされており、北海道が国内で最適な環境であることがわかる。北海道は西洋の気候と似ていることから、クラークや松方正義は北海道でのてん菜栽培に踏み切ったと言われている。1919 年 6 月 11 日に帯広に北海道製糖の工場が設立された。
- ② 豆類…大豆・小豆・インゲン豆・エンドウが作られている。開拓当初は、現金収入を得る作物として、大豆、小豆の収穫に力を入れ、それらは明治後半から大正初期にかけて道外へ移出された。大正 3 年に第一次世界大戦が始まると、ヨーロッパへインゲン豆、エンドウの輸出が増え、多くの「豆成金」が出現するなど、空前の豆景気となった。また、戦後の一時期も小豆が品不足などで価格が非常に高くなり「赤いダイヤ」ともてはやされた。しかし、豆類は冷害に弱く、多収量で耐寒性の強い品種への改良や、機械化一貫作業体系の確立などが望まれている。
- ③ 小麦…作付け当初は気候が合わずにうまくいかなかったが品種改良や機械整備が進むうちに作付けが拡大した。また 1974 年のソ連の大干ばつで小麦が世界的に不足した際に大量に作付けし、現在では帯広を担うような基幹作物のひとつとして定着した。
- ④ 馬鈴しょ…食用では男爵やメークインが作られている。北海道の寒冷な気候や火山灰の土壌でも育つなど当初から基幹作物とされた。食用のほかには、ポテトチップスの加工用や家畜のえさ用、デンプンの原料、たねいも用などがある。
- ⑤ 長イモ…北海道では日本で生産されている長イモの約 34%が生産されており、その中の約 8 割は帯広市で生産されている。この長イモの生産は昭和 30 年代の農作物の輸入による国内農産物の価格の低迷の中で、高収益が見込める長イモが作られ始めた。また、最近 15 年では台湾で薬膳ブームが起こり、帯広の長イモの輸出も伸びていった。台湾にはここ 3 年では 1,000t 台で推移し、安定を誇っている。また、最近では台湾以外にも輸出先を拡大しており、アメリカに年間 200t を輸出しているのを始め、シンガポール・タイなどの東南アジア、ドバイなどの中東地域、更にはヨーロッパにも出荷している。長イモは帯広を代表する農作物としてまだ認知度は低いが着実に生産数、輸出数共

に伸ばしており今後が楽しみな農作物である。

2.5 農業産出額

2005 年度の農業産出額は約 264 億円でいも類、麦類、豆類がほぼ同額産出されていることがわかる。いも類は約 54 億円、麦類は約 50 億円、豆類は約 50 億円。その他の中には主に野菜類が含まれ、てん菜もその中に入っているためその他の割合が多くなっている。

グラフ 2 帯広市の農業産出額の内訳



出典 わがマチ・わがムラ HP

2.6 日本・北海道の中の帯広農家

帯広市は先述のように、日本、北海道において農業の分野で大部分を占める。それについて、日本と北海道における位置づけについて示すと帯広市の全国的な農業規模がうかがえる。更にこの位置づけにおいて注目するのは農業後継者のいる農家の率である。全国的に農家の後継者は減少傾向にあり、帯広市もその例外ではないが、帯広市は全国平均や北海道の割合を大きく上回っている。

表 1 帯広市と北海道・全国比

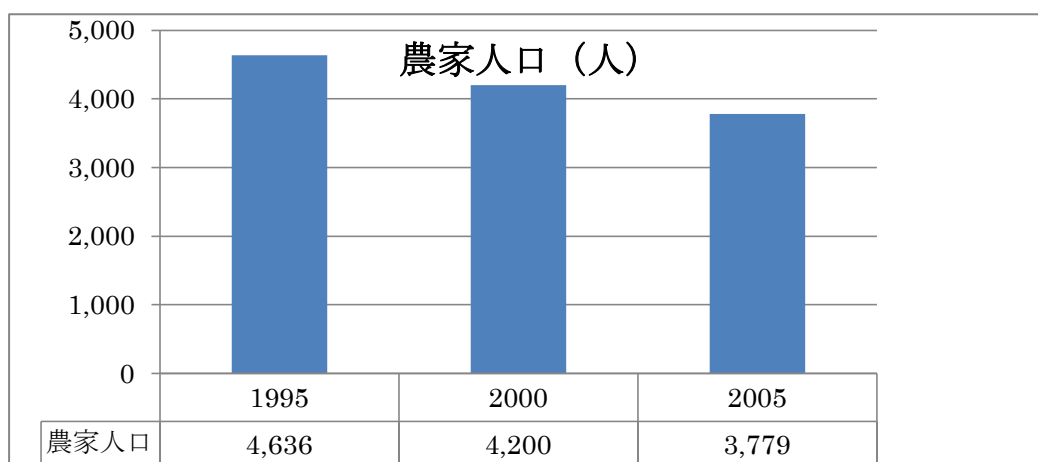
項目	一戸当たり平均耕地面積 (ha)	農家戸数 (戸)	うち農業後継者のいる農家率 (%)
帯広市	27.7	744	39.0
北海道	17.41	51,990	21.1
全国	1.57	1,933,424	22.2

出典 北海道農林水産統計

2.7 帯広市の農家人口

帯広市は全国でも有数の農業都市ではあるが次のグラフを見る限り農家人口は減少傾向にあることが分かる。これは帯広市の総人口と比較すると、その減少に比例する形となっている。近年では農家人口が 4000 人を切ってきているにもかかわらず、帯広市の農家は全国と比較しても平均以上の農業成果を出していることから、少数の農家が広い土地での活動に従事しているのである。全国平均の農家人口は人程度であることから、やはり帯広市は農家の人口が減ってはいるものの、いまだに多くの農家がいることがわかる。

グラフ 3 帯広市の農家人口の過去 10 年間の動き



出典 わがマチ・わがムラ HP

2.8 農業技術センター

2.8.1 農業技術センターとは

農業技術センターは、1995（平成 7）年に開設された施設である。生産者の経営管理能力、生産技術の向上や、消費者に農業に対する理解を深めてもらうため、様々な視点に立った事業を継続的に実施していくことにより、帯広市の基幹産業である農業の持続的な発展を目指しているものである。

図 2 帯広市農業技術センター



出典 農業技術センター

2.8.2 主な事業

・農業後継者の育成

十勝ふるさと農学校を開設し、農業後継者の育成、確保を行っている。農協、普及センター、農業委員会、市で構成する帯広市農業施策推進委員会（人材確保養成部門）において、カリキュラムを策定し、様々な知識、技術の習得による円滑な就農を目指している。また、北海道の担い手支援制度を活用しながら、農外を中心とした新規就農者への支援を図るため、農業技術センターの場を活用した実践研修制度を設けている。（実践研修生：年間1名）

・クリーン農業の推進

作物に含まれる硝酸塩低減に向けた取り組みが行われている。葉物野菜に含まれる硝酸塩は、取りすぎると人体に悪影響が出る可能性が指摘されているため農業技術センターでは、簡易測定機器（RQフレックス）を導入し、近郊で生産された作物の硝酸塩含有量を測定するとともに、施肥条件の違いによる野菜の硝酸塩蓄積量の変化について、試験を行っている。また、農村部における地下水の硝酸性窒素の含有量について実態を把握するため、市環境課と連携し調査を行っている。

環境にやさしい農業を計画的に実践する「エコファーマー」、化学肥料・農薬を使用しない「有機JAS栽培」生産者数の拡大に向けた取り組みを実施している。

参照 HP

わがマチ・わがムラ HP

<http://www.tdb.maff.go.jp/machimura/>

帯広市農業技術センターHP

<http://www.agricenter-obihiro.jp/>

JA 帯広かわにし HP

<http://www.jaobihirokawanisi.jp/>

帯広市役所 HP

<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/index.jsp>

北海道雑学百科ぷっちがいど

<http://pucchi.net/hokkaido/foods/tensai.php>

常設展示室「十勝農業の確立」

<http://www.octv.ne.jp/~hyakunen/nougyou.htm>